

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	国語
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい国語
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するために、どのように配慮されているか。	・確かな「言葉の力」を身に付けることを重視しており、3年間を通して系統立てて積み重ねていけるように工夫されている。 ・「てびき」において教材ごとに学びのプロセスを示し、身に付けるべき資質・能力や学習内容を理解できるように構成されている。また、教材ごとに着目すべき「言葉の力」を提示し、論理的に考えたり内容を理解したりする力につながるように配慮されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」では既習内容を生かして無理なく表現活動に取り組める単元構成となっている。 ・「広がる言葉」「言葉を広げよう(デジタルコンテンツ)」を活用して語彙を豊かにするよう配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、個別最適な学びと共同的な学びの設定についてどのような工夫が見られるか。	・教材末尾の「てびき」では、学習の見通しと振り返りの過程が明示されている。 ・イラストでの問いかけを用いて主体的に学習へつなげる工夫が見られる。 ・デジタルコンテンツでは、具体例や作品例が掲載されており、個別最適な学びを支える工夫が見られる。 ・教材最後の「考えをもつ」では、自分の考えをもち、他者と共有、交流することで協働的な学びへとつなげる工夫が見られる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各教材の学習後に関連した「読む、書く、話す・聞く」学習内容の配置が意図的になされている。 ・既習事項を生かし、活用につなげる工夫がされている。 ・教材末に示された「てびき」により、学習活動の流れが示されている。 ・各単元内に漢字や日本語に係る学習が内包されている。 ・文法の学習の際「文法解説」が巻末に詳細にまとめられている。 ・読書教材や読書案内など読書の推進につながる内容が充実している。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	・本文の書体に特別な明朝体を使用している。 ・色覚の多様性に配慮し、文字の大きさ、配色、フォントの使い分けをしている。 ・教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトにアクセスできる。また、各教材の学習に役立つ映像やアニメーションなどの動画、学習ゲーム、解説、資料なども利用できる。 ・文章や挿絵などに登場する人物について、性別や人種、身体的特徴、家庭環境等に偏りがないように配慮している。	
採択理由			
より主体的・対話的な深い学びにつながるよう、特に次の点について他社と比べ留意されている。			

- ① 確かな「言葉の力」を身に付けることを重視しており、3年間を通して系統立てて積み重ねていけるように工夫されている。具体的には、「てびき」において教材ごとの学びのプロセスを示し、身に付けるべき資質・能力や学習内容を理解できるように構成されている。また、教材ごとに着目すべき「言葉の力」を提示し、論理的に考えたり内容を理解したりする力につながるように配慮されている。さらには、1単元の中で、「読む、書く、話す・聞く」学習内容の配置が意図的になされており、「読む」教材で学んだ「言葉の力」を、「書く」教材や「話す・聞く」教材で活用できるよう配慮されている。
- ② 「てびき」に示す学習過程の中に、「考えを持つ」が設定されており、ここで、生徒一人一人が自分の考えをもち、他者と共有、交流することで、協働的な学びを無理なく教室内に実現することができる。これは、本年の学校教育指導方針でも重視している「アウトプット」にあたる学習活動だといえる。
- ③ 本文の書体に手書き文字との差異を最小限にした、特別な明朝体を使用している。また、1年生最初の单元では、フォントサイズを大きくするなど、発達段階にも配慮して、生徒が無理なく学習に取り組めるよう工夫されている。さらに、教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトや、各教材の学習に役立つ独自編集の動画、学習ゲーム、解説、資料なども利用でき、個別最適な学習の実現にも配慮している。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	書写
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい書写
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、どのような配慮がされているか。	・「生活に広げよう」において、教科の学習活動や生活の様々な場面で必要になる書写の能力を学習できるように配慮されている。巻末の「書写活用ブック」には日常の中で使われる様々な書式がまとめられており、確認、活用できるようになっている。 ・硬筆で書写の基本を押さえた上で毛筆で表現し、さらに日常の文字に生かすという学習の流れで構成されており、無理なく習得につながる工夫が見られる。	
内容の程度及び取扱いについて	言葉による見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・手書きの意味を考える教材や書式の種類とそれらを生かす場面について考える活動が設定されている。 ・文字の歴史や文化について学ぶ教材があり、言葉による見方・考え方を働かせる工夫が見られる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・一年「楷書」「行書」、二年「行書」「楷書と行書の使い分け」、三年「身の回りの文字」「手書き」で構成されている。 ・各單元ごとに文字文化に触れた学習や、手紙・依頼・本のポップ等の作成が盛り込まれている。 ・巻末の「書写活用ブック」では様々な書式の習得が図られるようになっている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・特別な明朝体を使用し、振り仮名などの小さい文字でも読みやすいユニバーサルデザインフォントである。 ・左利きの生徒の学習しやすさを考慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置し、利き手によらず教材文字が見やすいよう工夫している。 ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインが工夫されている。 ・作例や写真・イラストなどに登場する人物について、性別による役割の固定化や人数の偏りがないように配慮している。	
採択理由			
特に次の点について他社と比べ留意されており、本採択地区における学習者・指導者の実情に即していると考えられる。			
④ 硬筆で書写の基本を押さえた上で毛筆で表現し、さらに日常の文字に生かすという学習の流れで構成されており、身に付けるべき資質・能力を無理なく習得できるような工夫が見られる。			
⑤ 各単元に文字文化に触れた学習や、手紙・依頼・本のポップの作成等の多様な学習活動が盛り込まれており、これらの学習を通して、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することが容易であると考えられる。			
⑥ 中学校の書写で重要な学習内容として「行書」の学習が挙げられるが、行書の学習過程がたいへん細かく示されており、学習者・指導者の双方にとって学びやすい教科書であるといえる。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	社会(地理的分野)
		発行者の番号・略称	46・帝国
		教科書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、どのような配慮がされているか。	・毎時間の「説明しよう」で地理的事象を多面的・多角的に考察する力を養うように配慮されている。 ・コラム「未来に向けて」では、歴史や公民分野との関連を意識しながら、持続可能な未来の社会を構想する力を養うよう工夫されている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・単元の導入で「写真で眺める」を提示することで、「章・節の問い」に繋げることができる。 ・特設ページ「未来に向けて」や「アクティブ地理 AL」では SDGsとの関連などを意識しながら、課題解決的な活動を充実させることで主体的・対話的で深い学びを実現する工夫が見られる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各節の問いと振り返りを軸とした単元構成で、指導と評価の一体化が意識されている。 ・地図や画像の資料が充実しており、世界や日本の地理的特色を視覚的に理解しやすくなっている。 ・各単元の振り返りでは多様な思考ツールが活用されている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・二次元コードから各種コンテンツへのアクセスが可能となっている。 ・特設ページ「アクティブ地理 AL」では、二次元コードからワークシートをダウンロードすることも可能であり、学習場面に応じて活用するための工夫が見られる。	
採択理由			
生徒がこれから生きる社会で直面する課題について、協働的に解決していくことができるように工夫されており、特に次の点について他社と比べ留意されている。			
⑦ 「地理」、「歴史」、「公民」の3分野共通で、「地図帳活用」の欄を設けており、各分野の授業で「地図」と連携させた指導が可能となっており、3分野の教科書と地図帳を相互に活用して、生徒の学習効果が高まることが期待できる。			
⑧ 単元全体を貫く探究課題を設定しており、探究するためのステップも明示され、単元を通して主体的に学べるような工夫がされている。さらに、単元末には、シミュレーション教材など協働的な学習活動が例示され、対話的な授業の実践が期待できる。また、思考を整理するための多様な思考ツールが提示され、考え方やまとめ方が経験を通して身につくよう配慮されている。			
⑨ 生徒の一人一台端末で二次元コードを読み取って、アクセスできるデジタル資料が充実している。			
⑩ 生徒が各分野で学習する社会的事象を、自分事としてとらえ、生徒が生きるこれからの社会へ参画する意欲を高める工夫がなされている。世界各地、日本各地の学習をした後に、生徒が住んでいる地域の魅力を生かすまちづくりについて提言する活動が掲載されているほか、二次元コードからアクセス可能なデジタル資料に、「地域見える化 GIO			

ラフ」があり、生徒が一人一台端末等から、市町村単位の人口や産業、SDGsに関するデータを閲覧することができる。他地域や年代ごとの比較等も1人1台端末で生徒が操作可能であり、生徒にとって自分事となり、よりよい地域をつくろうとする意識が高まることが期待できる。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	社会(歴史的分野)
		発行者の番号・略称	46・帝国
		教科書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、どのような配慮がされているか。	各章ごとの振り返りのページでは、「現在とのつながり」や「SDGs とのつながり」の欄が設けられている。これらを活用して考える活動を通し、多面的・多角的な視点から、これからの社会を構想する力を身に付けることができるような工夫がなされている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・各小単元の導入ページ「タイムトラベル」を活用することで、各時代の人々の暮らしの様子を視覚的に捉えることができる。 ・各章の振り返りでは、様々な思考ツールが活用されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がみられる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各章の問いや、各節ごとの問いを各所で提示することで、生徒が問いを意識しやすい構成となっている。 ・地図や資料の解説が充実しており、かなりの情報量が確保されている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	教科書冒頭の「QRコンテンツの活用」で、二次元コードの活用法が説明されている。コンテンツには、ワークシート、動画、確認クイズなどがあり、多様な思考ツールやリンクが紹介されており、生徒の個別最適な学びが期待できる。	
採択理由			
生徒がこれから生きる社会で直面する課題について、協働的に解決していくことができるように工夫されており、特に次の点について他社と比べ留意されている。			
⑪ 「地理」、「歴史」、「公民」の3分野共通で、「地図帳活用」の欄を設けており、各分野の授業で「地図」と連携させた指導が可能となっており、3分野の教科書と地図帳を相互に活用して、生徒の学習効果が高まることが期待できる。			
⑫ 単元全体を貫く探究課題を設定しており、探究するためのステップも明示され、単元を通して主体的に学べるような工夫がされている。さらに、単元末には、シミュレーション教材など協働的な学習活動が例示され、対話的な授業の実践が期待できる。また、思考を整理するための多様な思考ツールが提示され、考え方やまとめ方が経験を通して身につくよう配慮されている。			
⑬ 生徒の一人一台端末で2次元コードを読み取って、アクセスできるデジタル資料が充実している。			
⑭ 生徒が各分野で学習する社会的事象を、自分事としてとらえ、生徒が生きるこれからの社会へ参画する意欲を高める工夫がなされている。各時代の歴史的事象を「現在とのつながり」、「SDGsとのつながり」の視点でまとめる活動が設定されており、さらに、すべての時代の学習終了後に、「これからの社会を構想しよう」という単元が設けられていることにより、これらの学習活動を通して、生徒が歴史の授業で学んだことを生かして、現代社会が抱える課題を解決しようすることができる。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	社会(公民的分野)
		発行者の番号・略称	46・帝国
		教科書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、どのような配慮がされているか。	特設ページやコラムで設定されている「アクティブ公民 AL」では、生徒が自らの生活と学習内容をリンクさせて考える活動や、異なる視点や立場から議論する活動を充実させることで、主体的・対話的で深い学びが実現するような工夫がされている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・各章の導入や各ページの冒頭で生徒の興味関心を引き立てるような資料を掲載したり、随所で社会参画を疑似的に体験する活動を設定したりしている。 ・各章の導入と振り返りで同一の資料を扱うことで、生徒が単元を貫く問いを意識しやすい構成となっている。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各章の導入や各ページの冒頭で生徒の興味関心を引き立てるような資料を掲載したり、随所で社会参画を疑似的に体験する活動を設定したりしている。 ・各章の導入と振り返りで同一の資料を扱うことで、生徒が単元を貫く問いを意識しやすい構成となっている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・教科書巻頭では、アクティブラーニングを実現するためのコンテンツやリンク集が掲載されている。 ・各章の振り返りでは、二次元コードでワークシートなどを掲載しており、学習活動に応じたコンテンツを設けるなどの工夫が見られる。	
採択理由			
生徒がこれから生きる社会で直面する課題について、協働的に解決していくことができるように工夫されており、特に次の点について他社と比べ留意されている。			
⑮ 「地理」、「歴史」、「公民」の3分野共通で、「地図帳活用」の欄を設けており、各分野の授業で「地図」と連携させた指導が可能となっており、3分野の教科書と地図帳を相互に活用して、生徒の学習効果が高まることが期待できる。			
⑯ 単元全体を貫く探究課題を設定しており、探究するためのステップも明示され、単元を通して主体的に学べるような工夫がされている。さらに、単元末には、シミュレーション教材など協働的な学習活動が例示され、対話的な授業の実践が期待できる。また、思考を整理するための多様な思考ツールが提示され、考え方やまとめ方が経験を通して身につくよう配慮されている。			
⑰ 生徒の一人一台端末で二次元コードを読み取って、アクセスできるデジタル資料が充実している。			
⑱ 生徒が各分野で学習する社会的事象を、自分事としてとらえ、生徒が生きるこれからの社会へ参画する意欲を高める工夫がなされている。「青果店の立ちのきについて考えよう」「赤字路線に税金を使うべきか?」「2040年の日本の電源構成案を提案しよう」など、各単元末のシミュレーション課題が設けられており、これらの課題に取り組むことを通し			

て、生徒が「地理」や「歴史」、「公民」で培った社会的な見方、考え方で、生徒が生きるこれからの社会を考えることができる。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	社会(地図)
		発行者の番号・略称	46・帝国
		教科書名	中学校社会科 地図
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、どのような配慮がされているか。	日本の地方ごとに発展的な学習に活用できるように、地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野に関するコーナーや年表、防災に関する資料等を示し、多面的・多角的に考察できる力を養うよう配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・世界全体の課題になっている問題を考察する活動の際に、選択したり関連させたりできるように、資料をまとめたコーナーが掲載されている。 ・「地図で考える持続可能な社会」、「日本の自然災害・防災」等のテーマごとに主題図や写真を掲載し、主体的・対話的で深い学びの実現に資するような工夫が見られる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	日本の自然災害・防災への意識を高めるための工夫として、自然災害や防災に関するページを設定しているのに加えて、日本の各地方の主題図において、防災についての資料を掲載するなどの配列に特色がある。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	各ページに二次元コードが掲載されており、生徒がすぐにアクセスできるようになっている。二次元コードを読み取ってアクセスするデジタルコンテンツの中に、「地域見える化GISジオグラフ」やアニメーション、統計資料があり、課題解決的な学習を補完するための工夫が見られる。	
採択理由			
生徒がこれから生きる社会で直面する課題について、協働的に解決していくことができるように工夫されており、特に次の点について他社と比べ留意されている。			
①9 「地理」、「歴史」、「公民」の3分野共通で、「地図帳活用」の欄を設けており、各分野の授業で「地図」と連携させた指導が可能となっており、3分野の教科書と地図帳を相互に活用して、生徒の学習効果が高まることが期待できる。			
②0 「地図で考える持続可能な社会」、「日本の自然災害・防災」などのテーマで資料をまとめたページが充実しており、新たな課題に対して教科等横断的な活用が可能となっている。			
21 生徒の一人一台端末で2次元コードを読み取って、アクセスできるデジタル資料が充実している。特に、「地域見える化 GIS ジオグラフ」では、人口、産業、資源など、テーマ別に資料が可視化され、生徒の学習内容の習得だけでなく、調べ学習、資料の分析、表現などの活動の充実が期待される。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	数学
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい数学
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	数量や図形などについて基礎的な概念や原理・法則などの理解を図り、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けられるように、どのような配慮がされているか。	・各章の導入で身近な事象と関連付けた課題を提示することで、数量や図形などについて基礎的な概念や原理・法則などの理解を図れるよう配慮されている。 ・個別最適な学びをサポートするよう『ヒントと解答』や自動採点機能付き『フラッシュカード』(二次元コード)が掲載されており、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けられるよう配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	数学における見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・「学びをふり返ろう」や「大切にしたい見方・考え方」を随所に設け、問題解決に向けたヒントや新たな視点を示している点で、数学的な見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。 ・巻末に「数学の目で振り返ろう」を掲載し、小学校から高校までの学習内容をつなげられるようにしている点で、数学的な見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・どの学年においても日常の事象を素材とする問題発見・解決の過程を意図した教材を配列している。 ・章末問題では自ら考え表現する力を高める記述式の問題を掲載している。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・動画や音声、アニメーションなどが使用できる箇所に「Dマーク」とその内容が表記されている。 ・生徒の集中を妨げないために二次元コードを各ページの右下に配置するといった工夫が見られる。	
採択理由			
数学的な問題発見・解決の過程を重視した教科書になっており、特に次の点について、生徒の「確かな学力の育成」につながるよう他社と比べ工夫されている。			
22 1人1台端末を学びの文具として使えるように、質の高いデジタルコンテンツを豊富に掲載し、知識・技能を習得する場面では『フラッシュカード』を活用して個別最適な学びが行えたり、導入や数学的活動をする場面では「シミュレーション」機能を利用して試行錯誤しながら学べたりできるように工夫されている。また、ワークシートや対話シートも用意されており、このデジタルコンテンツを活用することで、個に応じた学びや協働的な学びを実現できる。			
23 単元の導入時に、日常生活の中で生徒が疑問を感じるような具体的な場面を提示し、生徒が関心を高め、主体的に学べるように工夫されている。また、章の学習の中に生徒が既習事項を活かして、自ら問いを見出したり、考えたりすることができる数学的活動が設定されており、既習の知識と関連付けて、試行錯誤しながら新たな考えが見出せるように工夫されている。さらに、問題解決の過程で大切にしたい「数学的な見方・考え方」が示されており、既習事項やこれまでに働かせた見方・考え方を活用して生徒が主体的に考えられるように工夫されている。具体的には、教科書の中で、授業や単元の振りかえりに活用できる「学びをふり返ろう」を設定し、学習のなかで働かせた「数学的な見方・考え			

方」を価値づけられるように工夫されている。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	理科
		発行者の番号・略称	61・啓林館
		教科書名	未来へひろがるサイエンス
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	観察、実験などを行い、科学的に探究するためにどのように配慮されているか。	探究の課程について、巻頭で学習段階をサイクル図として示すとともに、探究のためのワークシートを巻末に提示することによって、探究の流れを意識して学習できるように配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	理科における見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・考えを深める場面において、理科の見方・考え方のポイントを絞ってキャラクターの対話で示すことで、理科の見方・考え方を働かせやすくするような工夫が見られる。 ・理科の見方・考え方を活用する発展的な課題を提示し、探究の手順に沿ってキャラクターの対話の中で示している。	
内容の配列・分量	単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各単元とも年間配当時数に対し余裕をもたせた構成になっている。 ・各単元のはじめにある「学びの見通し」や「学ぶ前にトライ」、「学んだ後にリトライ」があり、既習を踏まえながら単元全体でどのような学習をするの等が示され、系統性をおさえることに役立つ工夫がされている。また、学習内容と日常生活が関連した発展的な課題や、単元内に1つ探究的学習の内容のワークシートが含まれている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・導入場面において、写真や学習前後の振り返りシートの二次元コードを掲載し、巻末には SDGsを軸とした日常生活に結びついた取組例を提示している。 ・単元末に一問一答の学習をサポートする二次元コードがある。 ・観察・実験において、写真やイラストを中心に示し、色付き枠で区別している。 ・二次元コードを要所に掲載するなどの工夫が見られる。	
採択理由			
より探究的な学びの実現につながるよう、特に次の点について他社と比べ留意されている。			
24 単元導入の「学ぶ前にトライ」で、単元を貫く本質的な問いが学習の導入に設定されており、生徒は、「何のために学ぶのか」が意識でき、見通しをもって観察や実験を含めた学習を進められるように配慮されている。このことで、科学的に探究する技能がより養われると考えられる。			
25 二次元コードを要所に配置し、1人1台端末の画面上で操作し、実験・実習を行うためのコンテンツや動画から情報を読み取る問題、発表に使用できるスライドやポスターのひな型、振り返りシート(1枚ポートフォリオ)などのコンテンツが他社の教科書に比べ、質・量ともに充実しており、探究的な学びを進めるにあたってより良い教科書となっている。			
26 単元末で、その単元に関する日常生活に関係した探究活動があつて、生徒に興味・関心をもたせ、学びを広げる工夫がなされている。具体的には、生徒にとって身近な日常生活や部活、食、仕事、防災などと学んだ知識や科学を結びつけるコラムが多く配置され、理科を学習する有用性が感じながら、学んだことの活用や新たな課題の発見にもつながる工夫がなされている。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	音楽(一般)
		発行者の番号・略称	27・教芸
		教科書名	中学生の音楽
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するため、どのような配慮がされているか。	・学習課題が明確であり、課題解決のための話し合いや思考の道筋が分かりやすくなるよう配慮されている。 ・多くの著名人からのメッセージや、新しい音楽とのかかわり方などを取り上げ、音楽により親しみをもたせ、自分たちの身の回りのことから、音や音楽を意識できるよう配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	音楽的な見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・「鑑賞」等において、より深く楽曲を捉える視点を提供したり、生活の中の音や音楽に関する気づきをもたらす教材を多く掲載したりしており、音楽の見方・考え方を働かせることができるようになっている。 ・二次元コードの資料等を活用し、他領域との関わりをもたせる工夫がみられ、音楽の見方・考え方を働かせることにつながっている。	
内容の配列・分量	題材の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・資料や解説が充実していて、理解しながら学習を進めることができる。 ・我が国の伝統音楽についての情報が多数掲載され、興味・関心をもちやすいように工夫されている。 ・教材ごとに目標が明確に表記されていて、授業のねらいがわかりやすい。	
表記・体裁	楽譜や写真などの表記、表現、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・曲ごとに伴奏やパート別の音源の二次元コードがついており、生徒同士で学び合うことができる。 ・教材ごとに学ばせたい音楽の要素が明記されている。 ・SDGsと音楽教育との関連性が明確になっている。	
採択理由			
特に次の点について他社と比べ留意されており、本採択地区における生徒の実態に応じた効果的な指導につながると考えられる。 27 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するため、多くの著名人からのメッセージや、新しい音楽とのかかわり方などを取り上げ、音楽により親しみをもたせ、自分たちの身の回りのことから、音や音楽を意識できるように配慮されている。 28 題材の構成や教材の配列について、教材ごとに目標が明確に表記されていて、授業のねらいがわかりやすくなっている。 29 楽譜や写真などの表記、表現、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、曲ごとに伴奏やパート別の音源の二次元コードがついており、生徒同士で学び合うことができるようになっている。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	音楽(器楽)
		発行者の番号・略称	27・教芸
		教科書名	中学生の器楽
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するため、どのような配慮がされているか。	・身近で親しみやすい教材を多く取り上げ、生徒に興味・関心をもたせられるよう配慮されている。 ・世界の多様な器楽演奏の動画が二次元コードにおいて視聴することができ、より豊かに音楽文化と関わるができるよう配慮されている。	
内容の程度及び取扱いについて	音楽的な見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・「より良い音で演奏するにはどのようにしたらよいか」や、「創造的な表現とは、どのようなものか」等の思考を促す問いかけがされており、生徒が課題意識をもち、主体的に取り組むことができるような工夫が見られる。 ・各楽器の導入のページにおいて、代表的な楽曲を紹介したり、その楽器の歴史を掲載したりすることにより、より親しみをもって取り組めるよう工夫されている。	
内容の配列・分量	題材の構成や教材の配列、系統性には、どのような特色があるか。	・リコーダーに関しては、アルトだけでなく、ソプラノの曲も同時に掲載されており、振り返りができるようになっている。 ・ギターに関しては、ギターの種類が3種類取り上げられており、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「学びのコンパス」で楽曲に対する分析を深めるとともに、豊かな表現力につなげられるような工夫が見られる。	
表記・体裁	楽譜や写真などの表記、表現、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・各ページに二次元コードが配置されており、生徒自身がタブレットで民族楽器の演奏の様子や演奏者についての情報、楽器の奏法、ワークシートなど様々なウェブコンテンツに接続できるようになっている。 ・巻頭に音楽科で身に付けられる資質・能力が一目でわかるページがある。また、「器楽」と「創作」の領域との関わりが示されるとともに、学習の見通しを持つことができるようになっている。 ・生徒の興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容が取り上げられている。(バンドスコア、他ジャンルとのコラボレーション、同世代の音楽活動など) ・和楽器では、楽器特有の楽譜が五線譜と併せて表記されていて分かりやすくなっている。	
採択理由			
特に次の点について留意されており、本採択地域における生徒の実態に応じた効果的な指導につながると考えられる。 30 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するため、世界の多様な器楽演奏の動画が二次元コードにおいて視聴することができ、より豊かに音楽文化と関わるができるように配慮されている。 31 音楽的な見方・考え方を働かせるために、「より良い音で演奏するにはどのようにしたらよいか」や、「創造的な表現と			

はどのようなものか」などの思考を促す問いかけがされており、生徒が課題意識をもち、主体的に取り組むことができるような工夫が見られる。

- 32 楽譜や写真などの表記、表現、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、巻頭に音楽科で身に付けられる資質・能力が一目でわかるページがある。「器楽」と「創作」の領域との関わりが示されるとともに学習の見通しを持つことができるようになっている。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	美術
		発行者の番号・略称	38・光村
		教科書名	美術
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するため、どのような配慮がされているか。	・デザインの分野では、実際に使われている場面を多く紙面で取り上げており、生活と美術の関わりを捉えやすい。 ・2、3年では、日本の美術文化を伝える特設ページを設けることで、美術文化への理解や関心を高めやすくする配慮をしている。 ・身近にある美しさに目を向けられるよう、生徒が「美しい」と思った瞬間や風景の写真が、作者の言葉とともに掲載されている。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・鑑賞、表現の順にページが構成され、鑑賞のポイントが提示されることにより表現を意識しながら、主体的に作品が鑑賞できるようになっている。 ・さらに、吹き出しの問いかけにより対話が生まれるようになっている。 ・作品を発想できるよう作者の言葉や表現方法を二次元コードによっても提示し、自身の表現を広げたり深めたりすることができるようにしている。	
内容の配列・分量	題材の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・題材を基本2ページで構成しているため、生徒作品や題材の提示が豊富である。体感ミュージアムでは、見開き構成にしたり、紙質を変えたりと、より実物に近い感覚で鑑賞できるようにしている。 ・制作過程が見える「みんなの工夫」では、焦点化して制作過程を紹介するなど授業の流れを意識し「表現」と「鑑賞」を相互に関連させ一体的に学べる構成と配列に特色がある。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」、作者や作品の解説動画など、多くのコンテンツが活用できる。 ・作品を再現するために実物に近い質感で観賞できるページを設ける工夫が見られる。 ・3年間使用できる別冊資料には解説動画つきで、それぞれの題材で必要とされる力について、分かりやすく説明されており、基礎基本の定着に有効である。	

採択理由

生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力が育成できるよう、特に次の点について他社と比べ留意されている。

33 デザインの分野で、実際に使われている場面を多く紙面で取り上げており、生活と美術の関わりを捉えやすくなっている。また、2・3年生では、日本の美術文化を伝える特設ページを設けることで、美術文化への理解や関心を高めやすくする配慮をしている。

34 題材の示し方が鑑賞・表現の順に構成され、鑑賞のポイントが提示されることにより表現を意識しながら、主体的に作品が鑑賞できるようになっている。さらに、吹き出しの問いかけにより対話が生まれるようになっている。また、作品を発想できるよう作者の言葉や表現方法を二次元コードによっても提示し、自身の表現を広げたり深めたりすることができるようにしている。

35 制作過程が見える「みんなの工夫」では、焦点化して制作過程を紹介するなど、授業の流れを意識し「表現」と「鑑賞」を相互に関連させ一体的に学べる構成と配列になっている。また、作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」、作者や作品の解説動画など、多くのコンテンツが活用できる。加えて、教科書とは別に別冊資料が付属しており、解説動画つきで、様々な素材や技法を学ぶことができる。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	保健体育
		発行者の番号・略称	50・大修館
		教科書名	最新 中学校保健体育
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てるために、どのような配慮がなされているか。	・健康な生活と病気の予防について、日常生活の中で行われる動作や作業内容によつてのエネルギー消費量を明記することで、身体活動につなげる工夫がされている。 ・体育分野と保健分野に共通する「共生社会をつくるために」をテーマに、両分野が関連した構成になっている。 ・スポーツと人権を関連付ける内容が盛り込まれ、誰もが運動を楽しめる資質を育てる工夫がされている。 ・体育分野での資料が見やすく、興味を引くような掲示の仕方がされて、さまざまな角度から生涯スポーツにつなげる工夫が見られる。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びを実現するために、どのような工夫が見られるか。	・胸骨圧迫の実習の単位では、QR コードから実習の行い方を動画でも確認でき、技能ポイントなど簡潔に示されていることで、確実に技能を習得できるようになっている。 ・漢字が読めないことによるつまづきを避けるため、重要語句である本文中の太字やキーワードにはすべて振り仮名がつけられている。 ・気象災害と地震災害をそれぞれ 2 ページで扱っており、国が導入した「警戒レベル」を分かりやすい資料にして解説し、適切な対応・命を守る行動をしっかり学ぶことができる内容になっている。 ・「課題をつかむ」では、学習内容につながる気づきや思考を促す問いかけがあり、意見やグループで話しあったりする場面や、それを発表する場面が多く設けられている。 ・学習内容と関連した最新のトピックや豊富な資料が掲載されていることで、中学生の興味・関心の高い話題や実際に起こった事例を紹介するなど学びを深める手がかりとなっている。	
内容の配列・分量	主体的な学習を促すために、教材の配列・内容の系統性に、どのような工夫が見られるか。	・毎時間、「つかむ」「身に付ける・考える」「まとめ・振り返る」の3段階の学習過程で構成されている。 ・「課題をつかむ」では、身近で具体的な事例から課題を発見することで、主体的に考えたり判断したりできるように構成されている。 ・「学習のまとめ」では、学習した内容を活用した問いや発展して調べるような発問で構成されているため、主体的で深い学びにつながる工夫が見られる。 ・「生殖機能の成熟」が2時間に分けられているので、時数がしっかり確保されている。また、内容的に重複している学習内容が省かれているため、簡潔な内容になっている。 ・1時間ごとに「保体クイズ」、単元のまとめには、観点ごとに評価問題が設定されているため、復習、確認、活用がしやすかったり、評価につなげや	

		すかたりする工夫が見られる。 ・学習内容に関連する資料が多く取り入れられていることにより、自ら学びたいと思わせるしかけがあり、主体的な学習を促す工夫がされている。 ・各章のはじめに小学校と高校で学習することの関連が示されていて、系統性を踏まえて学習できるようにされている。 ・「体育の窓」や「保健の窓」など、コラムが豊富に設けられ、保健と体育の関連が考えられるように工夫されている。
表記・体裁	学習内容の理解を図るために、図やイラストなどの表し方や動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの資料について、どのような工夫が見られるか。	・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、イラストや写真の配置、色づかい、マークや囲みのデザインに留意し、学習上のつまづきを防ぐ配慮がされている。色彩は目に優しい中間色を基調とし、鮮明でメリハリのあるデザインになっている。表紙には強度を高め、汚れを防ぐ加工が施されている。また、軽量で耐久性に優れた紙を使用し、生徒の持ち運びの負担を軽減するように考えられている。 ・SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」のアイコンを裏表紙に掲載しており、明確な目標のもとに、内容が編集されている。 ・デジタル教材が、動画31点、WEBサイトのリンク31点、ワークシート48点、クイズ57点の167点と豊富である。特に、クイズでは、生徒が楽しんで取り組むことができる内容になっている。QRコードは、各ページに掲載されて、直接開ける仕様になっている。 ・実習を実施する際に、理解を深め、取り組みやすい画像や説明が掲載されている。例えば、脈拍を計る実習では、生徒が自分の脈を見つけやすいように、大きな写真を掲載し、丁寧な説明をつけている。 ・実際の生活に生かすことができる情報が掲載されている。例えば、「自然災害によるけがの防止」の単位では、線状降水帯に触れて特集ページで説明をしている。また、「気象情報の適切な利用」の単位では、WBGTや熱中症警戒アラートについて、WEB サイトを取り上げたり、熱中症の応急手当の実習の手順を分かりやすく説明したりしている。
採択理由		
36 導入では、身近な題材を提示したり、自分自身を振り返ったりすることで関心を高めるものとなっている。そして、導入で生徒が抱いた疑問や考えを深められるような発問を提示することで、一人一人の学びの見通しを持たせられるようにしている。考えを深める場面では、教科書にある資料や QR コードを活用し、課題解決が図れるようになっている。これにより、生徒は主体に取り組むことができ、教師はスムーズに授業を展開することができる。 37 小学校と高校で学ぶ内容との関連を示すことにより、系統性を踏まえた学びの工夫がされている。また、導入において、小学校の既習内容の振り返りを行ったり、意欲の向上や気づきを促したりする場面を設定しており、そのことにより個別最適な学びにつながる。また、視覚資料やイラストが多く、運動に対する多様な関わり方がイメージできる。さらに、幅広いスポーツや運動への関わり方が考えられ、生涯スポーツにつながる知識を身につけることができる。体育理論の単位でも、スポーツ医学や心理学の観点からスポーツにつながる情報が多く取り上げられている。 38 コンテンツが豊富で、動画が31点、WEB サイトのリンクが31点、ワークシートが48点、クイズが57点あり、生徒の学びに合わせたコンテンツを活用することができる。一人一台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びにつなげることができる。実習の単位では、写真やイラストが鮮明で分かりやすく、QR コードから、実習の手順の動画により確		

実に技能を習得できる工夫がある。

39 災害について、現行では教科書1ページでの扱いだったが、現在の自然災害の状況を鑑み、気象災害と地震災害が2ページでの扱いとなっており。国が導入した「警戒レベル」を分かりやすい資料にして解説し、適切な対応・命を守る行動をしっかりと学ぶことができる内容になっている。そのほか、「ブルーライト」「シックハウス症候群」「性的マイノリティ」などが現行には無い詳しい内容となっている。また、コラムが豊富に設定され、体育分野と保健分野の関連性の工夫がある。さらに、有名人や著名人のインタビュー内容もあり、生徒の関心意欲を高める手立てとなっている。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	技術・家庭(技術分野)
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	ものづくりの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するための配慮はされているか。	・技術の見方・考え方を働かせるために、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだせるようなガイダンスの内容を充実させている。 ・章末の「未来の Technology」によって、自分の考えを技術の評価、選択、管理・運用の面でまとめたり、未来に向けた技術の改良、応用を意識したりしてガバナンス能力やイノベーションの力を身に付けられるようにしている。	
内容の程度及び取扱いについて	技術の見方・考え方を働かせるための工夫や主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られるか。	・「理解」、「問題解決」、「技術の最適化」の流れで学習を行う。学習課題から疑問をもち、見通しをもって授業へ進むことができ、どの視点で学んだらよいかを意識しながら学習を行うことで、技術の見方・考え方を働かせることができるような工夫が見られる。 ・「TECH Lab」(各編の中にある)を活用して、工具の使い方を調べたり、各内容の技術を確認したりすることができ、主体的な学習を展開できる。	
内容の配列・分量	題材の構成や配列には、どのような特色があるか。	・1～3編は3章構成、4編は4章構成で3年間を見通した構成となっており、内容 A～D はバランスよく配分されている。 ・インターネットを利用し、内容に関連した動画等や内容を確認できるQR コードをそれぞれのページに掲載している。 ・章の中での発展の内容がまとめて掲載されている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・重要語句には黒色、太字を使っている。 ・できる限り実生活に即した場面を想定しやすいような写真を多く掲載している。 ・PDCA サイクルを意識させるような資料を多く掲載している。 ・書体にユニバーサルデザインフォントを使用している。また、色覚特性に適応できるような配色とデザインにしている。 ・「技術の匠」にその業界に携わる方の話を取り入れ、技術と生活や社会を結び付けた掲載にしている。 ・実生活での問題を取り上げ、解決するための例を作品とした「問題解決例」を掲載している。	
採択理由			
特に次の点について留意されており、本採択地区が目指す教育に適していると考えられる。			
40 実生活や社会の中から、問題を見だして課題を設定し、解決に向けての見方・考え方を、生徒自身が主体的に考			

え、進められるよう工夫されている。また、身につけた知識や技能を、これからの生活でのさまざまな場面でも生かしていくことや、考えて工夫していくことができると考えられる。

- 41 デジタルコンテンツの種類が豊富で、動画、思考ツール、クイズ、資料・図鑑 WEB サイトなど 8 種類のコンテンツが用意されている。情報量についても適切で、扱いやすく分かりやすいものであることから、生徒各々が、学習端末を活用し、調べたり、参考にしたりして、自ら学んでいくという点においても有効であると考えられる。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	技術・家庭(家庭分野)
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するため、どのような配慮がされているか。	・自身の生活の課題を解決するために、題材の最初に課題を設定する場面が設けられている。 ・各題材の学習のまとめでは、確認問題の他に学習したことを深め、自分事として考えられる工夫がされている。	
内容の程度及び取扱いについて	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られるか。	・巻頭に思考ツールの例が書いてあり、グループで生徒が話し合いなど、主体的に取り組めるような資料が多い。 ・各題材に学習課題が書かれており、その題材で何が本時の課題かが明確に分かるようになっている。また、題材の中で、キャラクターが問いを提示しており、生徒が疑問をもって主体的に取り組めるようになっている。	
内容の配列・分量	題材の構成や配列には、どのような特色があるか。	ガイダンスを含めた家族と家庭生活の内容が最初に配置され、食生活、衣生活、住生活、消費生活と環境、私たちの家族・地域の6つの編成となっており、教科書の順に学習しながら学習指導要領の内容を網羅する形式になっている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・すべてのページにデジタルコンテンツの QR コードが掲載されており、動画やシミュレーション、ワークシートなどが活用できるようになっている。 ・「目標」「レッツスタート」「学習課題」といった学習の流れが見開きで分かるように示され、具体例を示した写真やイラストが豊富である。 ・欄外に「せいかつメモ」で関連する用語についての説明を多くのページで載せている。	
採択理由			
特に次の点について留意されており、本採択地区が目指す教育に適していると考えられる。			
42 実生活や社会の中から、問題を見いだして課題を設定し、解決に向けての見方・考え方を、生徒自身が主体的に考え、進められるよう工夫されている。また、身につけた知識や技能を、これからの生活でのさまざまな場面でも生かしていくことや、考えて工夫していくことができると考えられる。			
43 デジタルコンテンツの種類が豊富で、動画、思考ツール、クイズ、資料・図鑑 WEB サイトなど 8 種類のコンテンツが用意されている。情報量についても適切で、扱いやすく分かりやすいものであることから、生徒各々が、学習端末を活用し、調べたり、参考にしたりして、自ら学んでいくという点においても有効であると考えられる。			

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	外国語
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	NEW HORIZON English Course
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養うために、どのように配慮がされているか。	・「話す・書く」領域については、自分の身の周りに関する事柄から社会的な事象に関する事柄へと生徒の発達段階に応じた配慮がある構成となっている。一方で、「聞く・読む」領域については自国や他国に関する話題を1年次から多く掲載する等、生徒が興味関心をもって取り組める内容になっている。 ・小学校の国語科で学習した教材を英語版で紹介する等教科横断型の視点が取り入れられていることも特徴である。	
内容の程度及び取扱いについて	主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	各 Unit に新出文法によるコミュニケーションの目的・場面・状況を設定した Preview を位置付けており、見通しを持てるように工夫している。Unit の最後には、単元の話題について学んだことをもとに考え、表現する活動が設定されている。それに加え、Stage Activity では、学期ごとに、4技能の統合的な活動が位置付けられている。巻末には、各 Unit の新出表現を用いた small talk で活用できる表現リストがある。	
内容の配列・分量	単元の配列や分量には、どのような特色があるか。	・単元を通して身につけたいことが明確であり、各パートの活動の積み重ねが最後の Unit Activity へつながる構成となっている。題材について深く考えなくてはならないため、概要から詳細の順にとらえ、最後には自分の考えを表現する読み方を身につけられるようになっている。 ・1年生では、小学校との接続を意識し、小学校で学習した単語などの挿絵が描かれていたり、習った文字と音について繰り返し学習できたりするように配列されている。	
表記・体裁	用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	・1年生では、通年通してUDフォントが採用され、文字習得の負担を軽減する工夫がされている。 ・Grammar for Communication では、1年生9つ、2年生では6つ、3年生では4つの文法のまとめがあり、日本語で丁寧な言語材料の説明がされている。 ・一口メモやダイバーシティメモ等も各ページに付されており、題材への生徒の理解を深めるために有効である。	
採択理由			
小学校外国語との接続を考慮しつつ、ICT の活用など効果的・段階的な指導で「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランス良く育成できるよう、特に次の点について他社と比べ留意されている。			

- 44 「読む・書く・聞く・話す」の4技能とそれを統合する活動が適切に配列され、自然に英語が分かりやすく身につく。また、導入から単元末への活動が段階的で、4技能がバランス良く配置されているため、教師による指導のばらつきを防ぎ、4技能が偏ることなく育成できる。さらに、単元をまとめる統合型の活動内容も日本の学校生活や文化の紹介など子供たちにとって身近で、興味を持って取り組みやすいテーマになっており、自然と学習しながら英語力がつく構成となっている。
- 45 授業や宿題で活用できる「デジタル教材」が豊富である。音声を中心に学習してきた小学校英語から読み書きが多くなる中学校英語への移行には、音声や画像、動画の活用が欠かせないが、東京書籍には、授業を想定した動画や家庭で音読などの復習できる QR コードが豊富で、学習者が主体的に学習環境を調整できる個別最適な学びにつながる内容となっている。

茨城県第7採択地区 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

		教科名	道徳
		発行者の番号・略称	2・東書
		教科書名	新編 新しい道徳
調査項目	観点	調査結果	
学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために、どのような配慮がされているか。	・現代的課題(いじめ問題、生命の尊さ、情報モラル、SDGs、多様性)等について取り上げ、生き方について考えを深め道徳的意欲と態度を育てられるように配慮されている。 ・いじめ問題と生命尊重の教材がユニット化され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。	
内容の程度及び取扱いについて	「考え、議論する道徳」の実現のために、どのような工夫が見られるか。	感じたことや考えたことをメモできる「つぶやき」が各教材に配置され、話し合いで活用できる。考えを可視化できる心情円等の思考ツールや役割演技のページを設けたりするなどの工夫が見られる。	
内容の配列・分量	教材の配列、分量には、どのような特色があるか。	学年ごとの発達段階や学習する時期に配慮した教材が配置されている。35教材+4の付録教材のうち、5つの現代的課題が複数配置され、特に「いじめ防止」「生命尊重」については3年間を通じて同じ時期に配置されている。	
表記・体裁	用語や写真、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	・ワイドなAB版で、挿絵や写真、図版が見やすく、文字も大きく読みやすい。学習者用デジタル教科書でGoogle翻訳の活用が可能。 ・全ての教材に二次元コードを設けてあり、再生速度を変更できる朗読音声やワークシートが参照できる。一部の教材では動画や、関連する他教科の教科書、人物の解説、デジタル心情円など、教材に合わせた多様なコンテンツが利用可能。二次元コード横のアイコンで、読み取る前に何が見られるか分かるため活用しやすい。 ・巻末に学期毎の振り返りシート(切り取り式)がある。	
採択理由			
地域や学校及び生徒の実態に応じ、発達段階を考慮しつつ、主体的・対話的で深い学びを実現するための指導ができるよう、特に次の点について他社と比べ工夫されている。			
46 生徒の興味を喚起する教材が充実している。いじめ問題、生命尊重、情報モラル、SDGs、多様性などの現代的課題を始めとする様々なテーマを取り上げ、それらをビジュアルや漫画、グラフなどを効果的に活用することで生徒の興味を喚起し、身近な社会問題を自分事として考えられるように工夫されている。			
47 『考え、議論する道徳』を意識した、内容構成の工夫がされている。全教材に生徒が考えたことを各自メモできる「つぶやき」の欄や、「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」の3種類の発問を用意したり、教材に応じて巻末の心情円を活用したりすることで、「考え、議論する道徳」が実現できるように配慮されている。また、教材によってユニット化したり、関連コラムを掲載したりすることで物事を多面的・多角的に考えられるようにし、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度などが育つように配慮されている。			
48 タブレット活用を意識したデジタルコンテンツが充実している。デジタルコンテンツに速度調節可能な朗読音声、ワークシート、動画など、多様なコンテンツを用意することで個別最適な学びへの対応や、Google翻訳や総ルビ・分かち書き表示を利用可能にすることで誰一人取り残さない学びへの対応を図られている。			